

佐栄建設事業協同組合 第12回通常総会が開催されました。



総会

2015年5月15日(金)、佐栄建設事業協同組合の第12回通常総会が、東武ホテルレバント東京(錦糸町)にて開催されました。総会には組合員数100名のうち委任状出席を含め83名が出席。廣井理事長(広井建設社長)の議事進行のもと、平成26年度決算、平成27年度事業計画・予算、役員補欠選挙などが審議・承認されました。佐藤工業株式会社からは、来賓として山田社長、上澤土木事業企画部長、伊藤建築事業企画部長が出席し、祝辞や挨拶を述べました。



廣井理事長

【理事長 挨拶】(要約)

皆様、ご苦労さまでございます。本日は遠方より、第12回通常総会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。また、日ごろより当組合活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、佐藤工業の幹部の皆様も、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。このたび、通常総会も12回目を迎えました。これもひとえに、組合が設立されてから、協力会社の方々がかかりと佐藤工業を盛り上げてきたという長い歴史と伝統があったからだと思っております。今、建設業界は、建設投資が上向き工事量が増加する中、技術者・技能労働者不足や高齢化、若者の建設業離れが大きな課題となっております。また、併せて建設業で働く一人ひとりの作業員が社会保険に加入する問題の対応も、積極的に取り組んでいかなければなりません。我々当組合は、この様な厳しい状況の中、協力し合って新しい技術を磨き、長い歴史と伝統を生かしながら、知恵を絞り新しい発想が必要だと考えております。本日は、1年に1度の総会です。よろしくご審議をお願いいたします。



山田社長

【山田社長様 祝辞】(要約)

本年は、当組合設立以来12年という干支で言えば一回りの節目を迎えられたことに、敬意を表します。5月24日は、当社として定めた「安全の日」です。八箇峠トンネルの爆発事故から3年が経過し、現地においては慰霊碑の建立を進めています。今後とも、事故の教訓を風化させることなく、社員一人ひとりが安全意識の維持・向上に取り組んでいきます。さて建設業界は、受注環境が好転し明るい話題を聞くことができますが、一方では技能労働者不足や高齢化、若年労働者の建設業離れが進行しています。また社会保険未加入問題も大きな課題です。中長期の業界を取り巻く環境は、決して楽観できるものではありません。短期の好材料を中長期の安定化につなげるべく、これらの課題を確実に克服していかなければなりません。当社が長年にわたって培ってきた技術、幾多の困難を乗り越えてきた誇るべき歴史を背景に、他社と肩を並べて競争し、ステークホルダーの方々に評価され選ばれる企業をめざしていきます。当組合の皆さんとともに、社会に貢献できる企業集団として取り組んでいきましょう。

< 議案 >

- 第1号議案 平成26年度決算関係書類承認の件
- 第2号議案 平成27年度事業計画並びに収支予算及び経費の賦課金徴収方法決定の件
- 第3号議案 借入金残高の最高限度決定の件
- 第4号議案 1組合員に対する貸付金残高及び債務保証残高の最高限度決定の件
- 第5号議案 手数料、貸付利息及び保証料の最高限度決定の件
- 第6号議案 役員報酬決定の件
- 第7号議案 役員補欠選挙の件

各議案は原案通り満場一致で可決決定を致しました。



上澤土木事業企画部長

【上澤土木企画部長様 挨拶】（要約）

今期の受注は、6件のトンネル・シールド工事や電力・JR関連工事、除染・造成などの震災復興工事、さらには大型サブ工事もあり、目標に対して国内は1.5倍、海外を含む全体では1.2倍強となる見込みです。当組合の皆さんには、見積りや施工計画等で支援いただき感謝します。計画から完了に至るまで一致協力して遂行し、高品質で顧客満足度の高いモノづくりに貢献することが第一と考えます。安全に関しては、休業4日以上が1件と目標をクリアしており、日々の注意喚起や意識の向上を引き続き確実に行っていきます。そして本支店が一体となり業績向上・安全確保に努め、現業・営業・技術が連携し取組み方針や体制など常に改善を進めていきます。組合の皆さんとは、各支店の地域性も考慮した上で情報共有を図っていきますので、受注・施工段階において、今後ともご協力をお願いします。



伊藤建築事業企画部長

【伊藤建築企画部長様 挨拶】（要約）

今期の建築事業を一言で表せば「国内事業がようやく回復してきた年」と言えます。不採算工事の消化と利益にこだわった受注活動の効果が現れ、利益を回復する状況にあります。来期期首での手持工事もしっかりとした利益を担保しており、来期はもう1段アップの利益が期待できると考えています。今やらなければならないことは、選ばれる企業であり続けるための努力です。即ち、高い価値を作り出し提供する仕組みの再構築だと考えています。人材育成、施工技術の研鑽、ソリューション型営業の定着、技術開発、海外展開、そして何よりも、協力会社の皆さんと一体となった高品質の実現をめざしていきます。当組合の皆さんとさらに連携を深め、強い体質へチェンジしていきたいと考えています。今後とも変わらぬご協力をお願いします。



朝倉副理事長

朝倉副理事長の閉会の辞により、第12回通常総会は、滞りなく終了いたしました。